

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじんとうきょうこうきょうがくだん 公益財団法人東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 澤田秀雄		
制作団体所在地	〒 169-0073		
	東京都新宿区百人町2-23-5		
電話番号	03-3362-6764	FAX番号	03-3360-8249
ふりがな 公演団体名	とうきょうこうきょうがくだん 東京交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 澤田秀雄		
公演団体所在地	〒 212-8554		
	神奈川県川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5F		
制作団体 設立年月	1946年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	会長：横川端、理事長：澤田秀雄、副理事長2名 専務理事・楽団長：大野順二、常務理事・事務局長：辻敏、評議員長・最高顧問：金山茂人、理事17名、評議員9名、特別顧問3名、監事2名、事務職員17名	(1)団体構成員：楽員81名、(内契約3名、研究員1名) 事務職員17名、常勤アルバイト5名 加入条件：楽員 公募によるオーディション 事務職 公募等による 試験・面接	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	美濃部敦
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	尾木貴雄

制作団体沿革	1946年東宝交響楽団の名で創立され、1951年に東京交響楽団と改称して今日に至っている。歴代の指揮者には、近衛秀麿、上田仁がおり、1964年から秋山和慶が音楽監督・常任指揮者を40年間務めた後、2004年からはユベール・スダーンが10年間音楽監督を務めた。2014年から新体制となり音楽監督としてジョナサン・ノットを迎え、それまでも増して交響管弦楽の振興を先駆的なプログラムによって行っている。1956年4月財団法人として認可、2011年には内閣府から公益財団法人として認可された。現在、主な主催公演は文化庁文化芸術振興費補助金の助成対象事業となっている。 1997年から新国立劇場の基幹オーケストラの一つとしてオペラ・バレエ公演を担当している。1998年に新潟市と準フランチャイズ契約を結び年間6回の定期公演などを行っている。2004年7月より川崎市のフランチャイズオーケストラとして、ミューザ川崎シンフォニーホールにて練習と公演を多く行っている。2013年には八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ協定を結び、各地域でのアウトリーチ活動にも強く力を入れている。2016年には創立70周年を迎え、記念演奏旅行としてヨーロッパ2016年欧州文化首都ブロッツワフ（ポーランド）を含む5か国5都市5公演を行った。2018年8月には日中平和友好条約締結40周年、日中文化交流年の文化庁委託事業として中国上海・杭州にて公演を行った。			
学校等における公演実績	平成23年度21公演、平成24年度16公演、平成25年度28公演 平成26年度19公演、平成27年度27公演、平成28年度34公演、 平成29年度30公演、平成30年度30公演 平成31年度22公演 令和2年度8公演（コロナ禍による自粛により減少） 令和3年度は各公演をそれぞれの学校及び教育委員会等と協議の上、オーケストラ形態もしくは室内楽形態での実施を、各学校や教育委員会は元より生徒とその家族の皆様の不安が取り除かれた安心できる環境を用意した上で進めている。			
特別支援学校における公演実績	オーケストラ公演としては平成27年度1公演、平成28年度1公演、平成29年度2公演、平成30年度3公演、平成31年度（令和元年度）2公演。 室内楽形式での出演も多数行っている。			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無	
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
			PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京交響楽団】

対象	○	小学生(低学年)		○	中学生	
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	オーケストラがあなたのまちにやってくる！～東京交響楽団地域巡回演奏会～					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<第1部> スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き) 協奏曲(モンティ:チャールダーシュ、モーツァルト:ファゴット協奏曲など) ※協奏曲のソリストにはできるだけ派遣地出身楽員を起用 (休憩15分) <第2部> ベートーヴェン:交響曲第5番『運命』から第1楽章 【★指揮者体験】ビゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【★生徒との共演】杉本竜一:BELIEVE(ビリーヴ)/訪問校校歌(オーケストラ編曲版) 外山雄三:管弦楽のためのラブソディ アンコール)久石譲:君をのせて(映画『天空の城ラピュタ』より) ※★の2コーナーはご希望に沿って変更いたします。差し替える場合は主に下記の曲目を考えていますが、該当校との調整で決定いたします。 アンダーソン:トランペット吹きの休日/アンダーソン:シンコペーテッドクロック 黛敏郎:スポーツ行進曲/ 訪問校校歌(オーケストラ編曲版)/ 該当校吹奏楽部・器楽部などとの共演 公演時間(90分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	2部構成で、前半の第1部では「オーケストラの楽器と演奏者」に、後半の第2部では楽器と演奏者が集まって作られる「オーケストラ全体の響き」を肌で感じられるプログラムで構成しています。 第1部は『売られた花嫁』序曲の華やかな響きで開幕します。弦楽器・木管楽器の細かいパッセージと各パートのアンサンブルが非常に重要な曲で、オーケストラ内のチームワークが織り成す音の緊張感が、日常から非日常への扉を開き、各体育館を劇場に変貌させます。「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では各楽器それぞれ一つずつを、ナレーション付きで紹介しします。協奏曲では一つの楽器にクローズアップし、ソロの妙技を楽しみます。ここで登場するソリストは、派遣地域出身の楽員を起用する予定ですが、該当者がいない場合は、ワークショップに出演した奏者や、若い奏者など、生徒と共感を得やすいという視点から起用します。 第2部はオーケストラの響きを存分に楽しむと同時に、「作曲家の歴史」や「音楽の地域性」を同時に学ぶ事のできるプログラムを描いています。交響曲『運命』ではベートーヴェンという作曲家がどのような人間で、いかなる辛さを乗り越え、そしてこの曲を作るに至ったかという作曲の背景を学んだうえで、それがいかに音楽に表れているかを聴いてもらいます。生徒が参加できるコーナーを挟んで、フィナーレでは日本特有のリズムやメロディがふんだんに盛り込まれた「管弦楽のためのラブソディ」で締めくくります。アンコールで、子供たちに耳なじみのある「君をのせて」を演奏して終演となります。					
演目選択理由	多くの子供たちに「はじめてのオーケストラ体験」を提供できるこの機会を最大限に生かすため、以下の3つの理由を基に演目を選択いたしました。 ①生の響きを聴かせたい:テレビや教科書で触れ合ったことのある曲目をプログラムに入れることで、スピーカーを通して聴く音と生の音の違いを認識できるように組みました。「優しく繊細な響き」や「床を伝って感じ取ることのできる響き」などを楽しめるように構成しています。 ②色々な楽器とその奏者を見てもらいたい:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」では、ナレーションで楽器の説明付きで、立奏します。協奏曲ではその地域で育った楽員が、主人公として帰郷することで、地元出身という共感を持ちやすい契機から将来の夢を追い求めることと、それに向かって努力することの大切さを考えるきっかけを用意します。該当者がいない場合には「共感」しやすいメンバーを選定します。 ③作曲家と音楽を身近に感じてもらうため:ベートーヴェンの交響曲『運命』は、音楽とその作曲家の精神的な部分に焦点を定めています。耳の聞こえなくなったベートーヴェンが苦難を乗り越えて、どのような音楽を作り上げたのかという提起を指揮者から生徒に投げかけます。この説明をした後に演奏することで、どのような表情の音楽が作り上げられるのか、それを「運命」で解説します。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	①指揮者体験コーナー 指揮の仕方と役割を指揮者が解説した後、実際に生徒の代表3名にタクトをもってオーケストラを指揮してもらいます。 ②みんなで歌おうのコーナー 歌うために簡単な準備体操をした後、オーケストラ伴奏でBELIEVE(ビリーヴ)や校歌を全員で歌います。ワークショップ時にも事前練習を行い、オーケストラとの共演をより良いものにできるように指導します。 ③その他 床に直接座って鑑賞する子供たちもオーケストラ全体を見渡すことができるように、生徒から見て奥に配置されている管楽器はひな壇上で演奏します。また、吹奏楽部や器楽部の共演を希望する場合には、各校吹奏楽部の部員にとって一生涯記憶するような「素敵な思い出」にできるよう、各学校の部活状況をお伺いした上で最高の公演にできるよう指導プログラムを準備いたします。					
出演者	指揮:大井剛史(ジャパン・アーツ所属アーティスト) ナレーションおよびソリスト:東京交響楽団の楽団員 管弦楽:東京交響楽団(2管12型編成) ピッコロ×1、フルート×2、オーボエ×2、クラリネット×2、ファゴット×2、ホルン×4、トランペット×3、トロンボーン×3、テューバ×1、ティンパニ×1、打楽器×3、ハープ×1 ファースト・ヴァイオリン(コンサートマスター1名含む)×12 セカンド・ヴァイオリン×10、ヴィオラ×8、チェロ×7、コントラバス×6					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 69 名		機材等 運搬方法	積載量: 2, 4 t		
	スタッフ: 13 名			車 長: 5, 8 m		
	合 計: 82 名			台 数: 2 台		

【公演団体名 東京交響楽団 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時30分～15時	15分	15時～16時	16時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	少人数～全校生徒など、ご希望に応じます。 ※交流給食希望の場合は1クラスに2人参ります。				
	本公演	体育館にオーケストラを並べられれば、生徒は1人から1,000人までどれだけ入っていただいても構いません。				
ワークショップ 実施形態及び内容	■実施形態及び内容 出演：オーケストラの演奏者3人、指揮者1人、ピアニスト、司会の6人 オーケストラで使われる楽器を一つずつ間近で見せながら、その奏者が解説をします。楽器によっては少しだけ体験してもらえる場合もあります。説明の後には短い演奏を行います。生徒たちにとって一番身近に感じられる「ピアノ」についてのコーナーも設けます。 ※吹奏楽部との共演を希望する学校の場合は、吹奏楽部指導をワークショップ当日に行います。 ※希望の場合には交流給食有					
ワークショップ 実施形態の意図	本公演と同じく、90分間の音楽鑑賞教室にすることもできるのですが、個として触れ合うことに重きを置いているため、生徒と楽員との接点が深くなるこの形態を選びました。出演者は全員マイクを持ち、全員が生徒たちに語り掛けます。質問コーナーなどでは会話もします。本公演がオーケストラという団体との触れ合いであるのに対して、ワークショップは、個々人とのふれあいができることを努めます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	学校ごとによって普段の活動の様子を尋ね、その学校の希望に沿った形で提供できるようにしたいと考えています。ワークショップも本公演も、その学校にとって最高の内容にできるように、ヒヤリング結果に対して答えられる準備を致します。 例) 該当校の打楽器を利用して、派遣奏者と生徒全員でリズム遊びをすることで、みんなで一緒に音楽を作ることの楽しさを共有するなどの方法を考えています。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					



■音楽監督
ジョナサン・ノット

■桂冠指揮者
秋山和慶
ユベール・スダーン

■正指揮者
原田慶太楼

■名誉客演指揮者
大友直人

■特別客演指揮者
飯森範親
(2022年3月まで)

■永久名誉指揮者
アルヴィド・ヤンソンス◆
上田 仁◆
遠山信二◆

■名誉コンサートマスター
大谷康子

■コンサートマスター
小林吉成
グレブ・ニキティン
水谷 晃

■アシスタント・
コンサートマスター
田尻 順
廣岡克隆

■会長
横川 端

■理事長
澤田秀雄

■副理事長
平澤 創
依田 巽

■専務理事
大野順二

■常務理事
辻 敏

■理事
阿部武彦
池辺晋一郎
伊藤美樹
大橋 博
岡崎哲也
庄司 薫
竹中平蔵
永山 治
夏野 剛
南部靖之
福川伸次
藤原 洋
増岡聡一郎

■監事
磯村文靖
寺西基之

■評議員長
■最高顧問
金山茂人

■評議員
梅沢一彦
鷺海量明
片山泰輔
加藤英輔
西村 朗
星 久人
山添 茂
横川 寛

■特別顧問
飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

2021年 11月現在

■1st Violins

○木村正貴
○堀内幸子
小川敦子
加藤幸子
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
森岡ゆりあ
吉川万理

■2nd Violins

○清水泰明
○服部亜矢子
○坂井みどり
○加藤まな
○福留史紘◇
阿部真弓
河裾あずさ
塩谷しずか
鈴木浩司
竹田詩織
渡辺裕子
辻田薫り*
水谷有里*

■Violas

○青木篤子
○武生直子
○西村真紀
○多井千洋◇
○山廣みほ
小西応興●
鈴木まり奈
永井聖乃
長谷山博史*

■Cellos

☆伊藤文嗣
○川井真由美
蟹江慶行
謝名元 民
樋口泰世
福崎茉莉子

■Double Basses

回助川 龍
○北村一平◇
○久松ちず
安田修平
渡邊淳子

■Flute

○相澤政宏◇

■Flutes & Piccolos

高野成之
濱崎麻里子

■Oboes

○荒 絵理子
○荒木奏美
浦脇健太*

■Oboe & English horn

最上峰行◇

■Clarinets

○エマニュエル・ヌヴェー
○吉野亜希菜
近藤千花子
小林利彰

■Bassoons

○福井 蔵
○福士マリ子
坂井由佳
前関祐紀

■Horns

○上間善之
○大野雄太
○ジョナサン・ハミル
加藤智浩
阪本正彦
溝根伸吾

■Trumpets

○佐藤友紀
○澤田真人
野沢岳史●
松山 萌
坂本佳織*

■Trombones

○鳥塚心輔
○大馬直人
住川佳祐
■Bass Trombone
藤井良太

■Timpani & Percussions

○清水 太◇
武山芳史
綱川淳美
新澤義美

■Harp

○景山梨乃

■Librarian

★武田英昭

■Stage Managers

西岡理佐
山本 聡

■荣誉団員

井伊 準◆

■楽団長
大野順二

■編成局長
藤原 真

■パーソネル・
マネージャー
大和田浩明

■事務局長
辻 敏

■事務局
伊藤瑛海
小川博司

■尾木貴雄

■梶川純子

桐原美砂

佐藤雄己

高瀬 緑

竹内裕子

長久保宏太朗

山田道子

市川萌都*

れい わ ねん ど ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそうごう し ぎょう -じゅんかいこうえん し ぎょう-
令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-

オーケストラがあなたのまちにやってくる

TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director

と う きょう こう きょう が く だ ん ち い き じゅん か い
東京交響楽団 地域巡回コンサート



© N.Ikegami

202〇年◇◇月△△日 13:30 開演
□□小・中学校 体育館

ぶん か げいじゆつ こどもいくせいそうごう し ぎょう -じゅんかいこうえん し ぎょう-
文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

わ く に いちりゅう ぶん か げいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すく ぶ
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞
台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじょう もくてき
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえん し どうまた かんしょう し どう おこな じつえん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



Program プログラム

スメタナ: 歌劇『売られた花嫁』序曲

～楽器解説～

小室昌広編曲: ディズニーのメロディーによる管弦楽入門

ナレーション: ◆◆◆◆

～協奏曲の楽しみ～

モンティ: チャールダーシュ

ヴァイオリン: △△△△

ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」から第1楽章

－休憩－

黛 敏郎: スポーツ行進曲

～指揮者体験コーナー～

ビゼー: 歌劇『カルメン』前奏曲

アンダーソン: トランペット吹きの休日

外山雄三: 管弦楽のためのラプソディ

Program Note 曲目解説

♪ スメタナ: 歌劇『売られた花嫁』序曲

チェコの民俗的なメロディーを多く取り入れる作風で知られるスメタナ(1824-1884)の代表的な歌劇(オペラ)の序曲(開幕の音楽)です。この歌劇はとても快活なリズムやメロディーがちりばめられた作品で、序曲の中でもとても忙しそうに演奏したり、ゆったりアンサンブルしたりするなど、多くの表情が込められています。これから始まるオーケストラのコンサート、開幕のわくわく感を楽しんでください。

♪ 楽器解説 小室昌広編曲: 「ディズニーのメロディーによる管弦楽入門」

「オーケストラ」を日本語では「管弦楽」といいます。この曲ではオーケストラの中にある楽器をみなさんがよく知っているディズニーのメロディーで順番に紹介していきます。オーケストラの中にはどんな楽器があるか、目で見て耳でよく聴いてみてください。

♪ モンティ: チャールダーシュ

協奏曲は独奏楽器(ソロ楽器)と管弦楽のために作曲された曲のことを指します。ソリスト(独奏楽器の奏者)と指揮者そしてオーケストラが、お互いにコミュニケーションを取りながら一つの曲を作り上げていく様子を、それぞれお楽しみください。

イタリアの作曲家モンティ(1868-1922)の作曲したチャールダーシュはハンガリーのメロディーを取り入れた曲で、ヴァイオリンの音色をゆったりと楽しめる前半と、快活な後半に分かれています。

♪ ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェン(1770-1827)は 30歳過ぎにはほとんど耳が聞こえなくなっていました。強い精神力でこの苦しみを乗り越え、生涯で9つの交響曲を作りました。この交響曲第5番は 38歳の時に完成しました。この曲は全体で4つの楽章があり、すべて演奏すると35分ぐらいの演奏時間ですが、今日はその中から第1楽章を演奏します。

ベートーヴェンは出だしの4つの音について「このように運命は扉をたたく」と言ったと伝えられています。作曲家でありながら耳の聴こえない辛さを正面から受け止め、それに負けまいとする強い姿が、この曲の様々な場面で表れています。

♪ 黛 敏郎：スポーツ行進曲

戦後日本の音楽普及に尽力した 黛 敏郎(1929-1997)はクラシック音楽からテレビやラジオで親しめる曲まで様々な作品を発表しました。このスポーツ行進曲は、今でもテレビのスポーツ番組やバラエティ番組でよく耳にする音楽です。

♪ ビゼー：歌劇『カルメン』前奏曲

フランスの作曲家ビゼー(1838-1875)のオペラ『カルメン』の冒頭に演奏される勇ましい曲です。今日は皆さんのお友達にこの曲で指揮者にチャレンジしていただきます。

♪ アンダーソン：トランペット吹きの休日

アメリカの作曲家、アンダーソン(1908-1975)はとても軽快で心弾む音楽や、親しみやすいメロディーでとても人気を博した作曲家です。クラシック音楽とポピュラー音楽が溶け合った作品はオーケストラのみならずバンドミュージシャンによっても取り上げられることが多く、日本でも小学校・中学校の給食や掃除の音楽としてもよく聴かれています。ひょっとしたら、あなたの学校でもよく耳にする音楽かもしれません。

♪ 外山雄三：管弦楽のためのラプソディ

この曲は現代日本を代表する作曲家・外山雄三(1931-)の代表作で、50年以上も前に、日本のオーケストラが海外での演奏旅行をするときに、「日本人が心の中に持っている音楽やリズム」を知ってもらうために作曲されました。「あんたがたどこさ」「ソーラン節」「串本節」「信濃追分」「八木節」などの旋律がアレンジされ、和太鼓やチャンチキなど日本の楽器も多く使って、日本らしさを表現しています。「ラプソディ」とは日本語では「狂詩曲」とよび、様々なメロディーや楽曲を自由につなげて一つの曲に仕上げた作品のことです。

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

Profile プロフィール



指揮:大井 剛史 Takeshi Ooi / Conductor

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラプチェフスキーの各氏から指導を受ける。

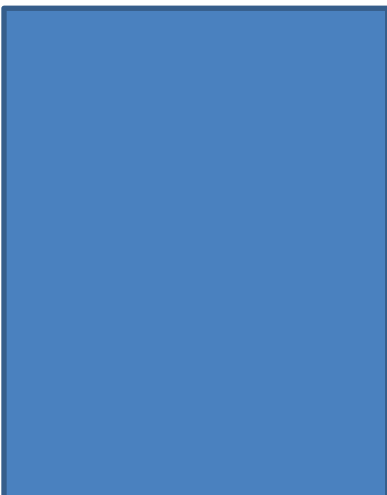
東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。

2008年アントニオ・ペドロッチこくさい し きしや国際指揮者コンクールで第2位入賞。だい いにゆうしょう

2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）
常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。

現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。

しんしんきつぎょう か げんだいきくひん すいそうがく はばひろ ぶん や いよくてき かつどう
新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、オペラ、バレエ、など幅広い分野で意欲的に活動している。
こうきやうけいしつだいがくおんがくがくぶ がきかく か ひしやうきんこうし すいそうがく しょうぶ せんもんがくこうきやういんぎょうじゅ
東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



独奏^{どくそう}ヴァイオリン:△△△△ …………… / Violin

[illegible]

かんげんがく とうきょうこうきょうがくだん
管弦楽:東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開。教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。

また、^{しんこくりつげきじやう}新国立劇場のレギュラーオーケストラとして^{まいとし}毎年オペラ・バレエ公演を担当。^{こうえん たんとう かいがいこうえん}海外公演もウィーン楽友協会をはじめ^{がくゆうきやうかい}58都市78公演を行う。さらに「VR オーケストラ」や「電子チケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス『TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION』をスタートするなど IT への取り組みも^{おんがくくわい}音楽界をリードしている。

おんがくかんとうく けいかんし きしや あきやまかずよし めい よ きやくえん し きしや おおともな お とくべつきやくえん し き
音楽監督にジョナサン・ノット、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人、特別客演指揮
者に飯森範親を擁する。

公式サイト: <https://tokyosymphony.jp/>

右の QR コードをスマートフォンで読み取ると、東京交響楽団のウェブサイトをご覧ください。→



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	B15	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	B	区分	A区分
公演団体名	東京交響楽団				制作団体名	公益財団法人 東京交響楽団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	4室	条件		指揮者コンサートマスター、男性、女性楽団員。着替えがあるためカーテンがある部屋が希望です。			可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台	2tトラック	1台	不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(長さ 7.85m、幅2.26m、高さ3m)				不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可
	理由			・ひな壇等舞台大道具の搬入をするため ・雨天の場合、楽器が濡れないようにするため (いずれも対応について相談可能です) ・体育館横づけ不可の場合、昇降口から搬入することも可能です。				
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば3階以上も可				可
	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m		高さ	1.8m		可
	WSIについて	参加可能人数	制限なし					
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				可	
所要時間の目安 単位:分		90分程度						可
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		舞台設置に必要なスペース以外で適切に座って鑑賞できる人数					可
	舞台設置場所 *		フロア					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	15m	奥行	9m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			可
		舞台袖スペースの条件 *			楽器ケースなど荷物が置けること			可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *					—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		5A	※主幹電源の必要容量			—	
	その他特記事項							応相談

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

